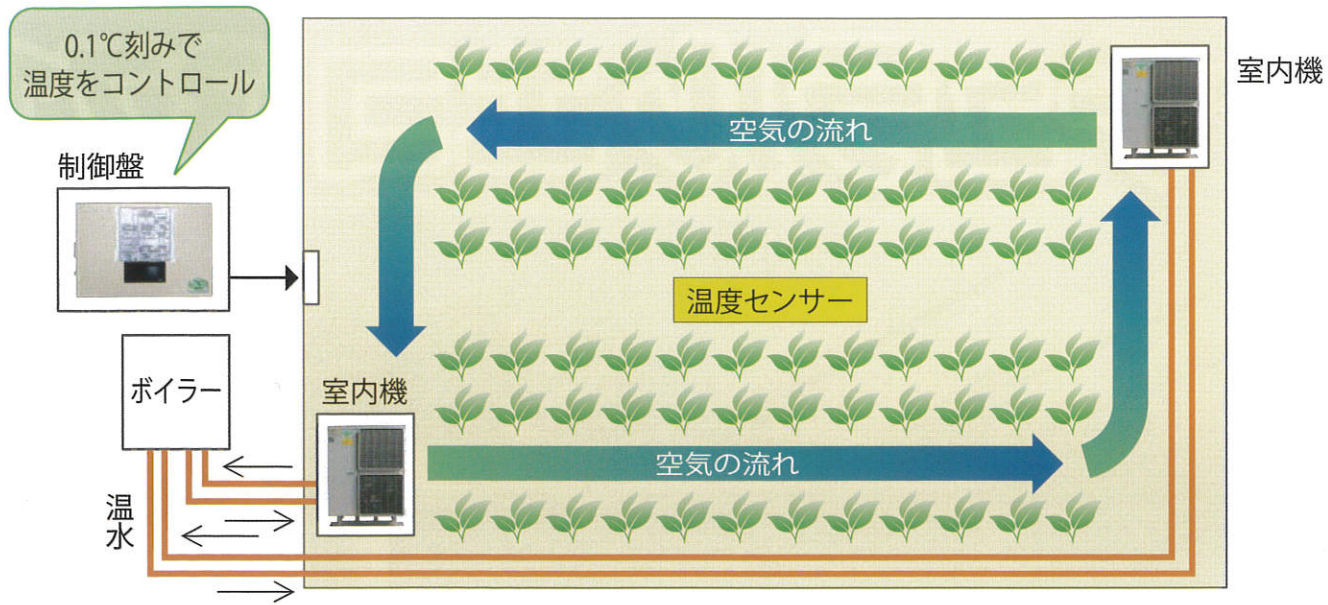


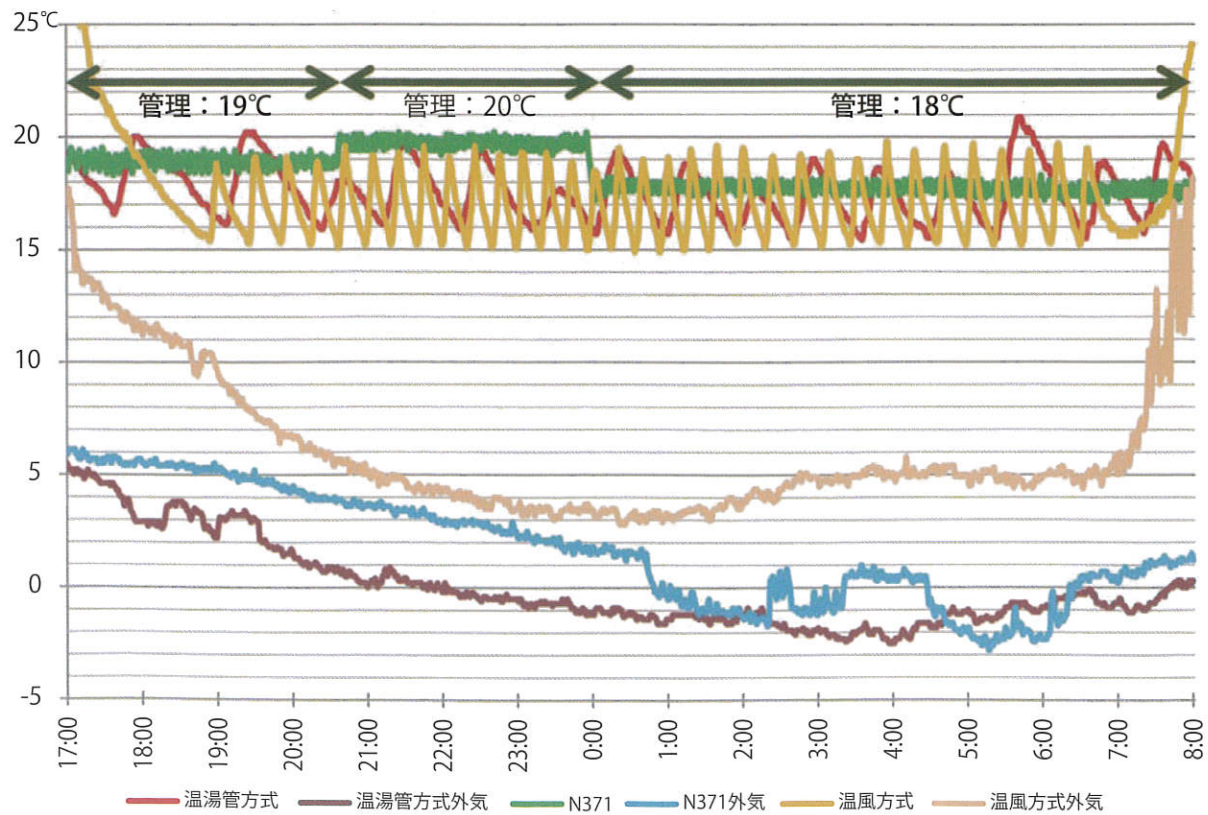
温度のふらつきを改善し、温度管理が容易になりました

空気の対流によりハウス内の温度のふらつきを改善します



※室内機設置目安：加温面積により、50～60坪に1台の割合で設置。
例えば、1000㎡（300坪）のピーマンで5～6台。
ただし、栽培作物の設定温度やハウス形状によって異なります。

ナチュラルエコ371 vs 温湯管 vs 温風 比較データ



設定温度
ナチュラルエコ371：17:00-20:30 19℃、20:30-0:00 20℃、0:00-8:00 18℃（2月1日）
温湯管：18℃（2012年2月9日） 温風：15℃（2012年3月31日） 場所：高知県内

ボイラーの燃焼を最小限に抑え、燃料の使用量を削減できます

シシトウ 1000㎡ 栽培施設の場合

期間：2010年11月～2011年4月

年間コスト
約2,663,000円

ボイラーの設定温度が
今までより低いので、
燃油使用量が減ります！

年間コスト
約1,870,000円

CO₂ 排出量
約24.7t
削減！

年間
約793,000円
コストカット

重油焚きボイラー	
電気料金	53,000円
重油料金	2,610,000円
ランニングコスト合計	2,663,000円

ナチュラルエコ371	
電気料金	70,000円
重油料金	1,800,000円
ランニングコスト合計	1,870,000円

※重油料金 90円/ℓ 換算

※現地の状況や気象条件等により差異が出る場合があります、実際の削減額を保証するものではありませんので、ご注意ください。

作業性が向上します

農作物に優しい

- 燃焼した風ではなく、吹出し温度は低く設定！やわらかな風だから、室内は自然環境に近く、農作物に悪影響を及ぼさない！
- ハウス内の空気を対流させることにより、害虫もつきにくくなる！

使う人に優しい

- ナチュラルエコがあれば、他の加温機は不要！
- ハウス内の温度のふらつきが少ない！



ご利用者様体験談

高知県南国市にてシシトウ栽培中



JA南国市
シシトウ部会長
土居 正雄 さん

現在南国市のシシトウは、全国1位の生産量を維持していますが、ここ数年原油高でこれから先の経営存続に対して、非常に強い危機感を抱いています。そこで、2010年の冬から、従来と全く違う新しい暖房システム：ナチュラルエコ371を導入したところ、前年に比べて、重油使用量がおおよそ30%削減できた上、A品収量を増加することができました。

高知のシシトウだけでなく、高知全体の農業または、日本全体の施設栽培にとって生き残るための大きな手段になると良いですね。